

授業科目 バイオメカニクスⅠ

【担当教員名】 阿部 薫	対象学年	2	対象学科	義肢装具自立支援学科
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
 生理学・解剖学・機能解剖学の知識をもとに、身体運動に関する主動筋の作用と神経支配について学習する。
 身体運動機能の基本的な検査法として、関節可動域検査法および徒手筋力検査法について学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 身体運動に関与する骨、関節形状について説明できる。
2. 四肢、体幹の主動筋および神経支配について説明できる。
3. 関節可動域について説明できる。
4. 徒手筋力検査について説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	全身骨格について	1	講義
2	関節形状について 1	1	講義
3	関節形状について 2	1	講義
4	上肢の主動筋および神経支配 1	2	講義
5	上肢の主動筋および神経支配 2	2	講義
6	手指の主動筋および神経支配	2	講義
7	体幹の主動筋および神経支配	2	講義
8	下肢の主動筋および神経支配 1	2	講義
9	下肢の主動筋および神経支配 2	2	講義
10	上肢、手指の関節可動域	3	講義
11	体幹、下肢の関節可動域	3	講義
12	関節可動域検査法	3	講義と実習
13	徒手筋力検査法 1	4	講義と実習
14	徒手筋力検査法 2	4	講義と実習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	プロメテウス解剖学アトラス	解剖学総論／運動器系	坂井建雄ほか訳	医学書院 2007年 12000円
		基礎運動学第6版	中村隆一ほか	医歯薬出版 2003年 6800円
参考書	身体運動の機能解剖学改訂版	中村千秋ほか訳	医道の日本社	2002年 4300円
	新・徒手筋力検査法	原著第7版	津山直一訳	協同医書出版 2003年 6500円
その他の資料	プリント			

【評価方法】 授業出席／態度、小テスト、筆記試験により、総合的に評価する。	【履修上の留意点】 義肢装具および福祉機器・用具を理解する上で、基本となる重要な分野のため、よく復習し、完全にマスターすることが望まれる。
--	--

義肢装具自立支援学科 専門